

0218

0217

第三號

衣糧

秘

本件八月七日附陸軍大臣
 二四九号ヲ以テ、被服本廠一
 後藤清 昭和四年八月八日
 官房長

陸軍大臣

陸軍大臣
 8.3.
 陸軍大臣

陸軍大臣

陸軍大臣
 14.8.4
 衣糧課

0217 0218

秘

第

林

一四更第七二四五號

昭和十四年八月三日

農林次官 荷見

陸軍次官 山脇 正隆 殿

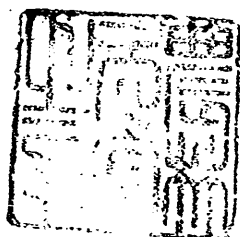
家兎屠殺制限規則公布ノ件

兎毛皮ハ之ヲ軍ニ供出スル爲本省ニ於テ之カ増産ニ努メ來リ候處夏季
兎肉供給ノ爲家兎ヲ屠殺スルモノ相當多尙有之斯クテハ兎毛皮増産上
支障ヲ來スモノト認メ八月一日附ヲ以テ別紙家兎屠殺制限規則ヲ公布
致候ニ付テハ此段御了知相成度及御通知候也

三零八

陸軍 14.8.3 陸軍大臣

陸軍 14.8.4 陸軍課



其
本
旨

追而兔毛皮ノ民需用加工ニ付テハ目下之カ制限方處置ニ付考究中ニ
有之候條爲念申添候

小 葉 結

日本標準規格 B-1

農林省令第三十七號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ家兔屠殺制限規則左ノ

通定ム

昭和十四年八月一日

以下添付書類

農林大臣 櫻 内 幸 雄

家兔屠殺制限規則

第一條 本則ニ於テ家兔トハ飼育シタル兔（アングラ兔及レッツキス兔ヲ除ク）ヲ謂フ

第二條 家兔ハ五月一日ヨリ十月三十一日迄ノ間屠體、毛皮又ハ肉ヲ販賣スル目的ヲ以テ之ヲ屠殺スルコトヲ得ズ但シ軍ノ注文ニ係ル場合及特別ノ事由ニ因リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 前條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ

タル許可申請書ヲ屠殺地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ

一 屠殺頭數

二 屠殺ノ目的

三 屠殺ノ期間

四 屠殺場所

第四條 第二條但書ノ規定ニ依リ家兎ヲ屠殺シタル者ハ屠殺後十日以

内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ屠殺地ヲ管轄スル地方長官

ニ提出スベシ

一 屠殺頭數

二 屠殺シタル家兎ノ處分

三 屠殺シタル日

四 屠殺場所

軍ノ註文ニ係ル場合ニ於テハ軍ノ註文ニ係ルモノナルコトヲ證スル
書類ヲ前項ノ書類ニ添附スベシ

附 則

本令ハ昭和十四年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

0222 0223

リ別
テ家
兎毛



十四更
昭

地才長官充通倅字



十四更第七一五四號

昭和十四年八月一日

農林省 經濟更生部長

縣知事殿

農林省 畜産局長

家兔屠殺制限規則施行ニ關スル件

兎毛皮ハ重要ナル軍需資材ナルニ鑑ミ之ガ増産ヲ確保スルノ要アルヲ以テ家兔ノ屠殺ヲ制限スル爲昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依リ別添ノ通家兔屠殺制限規則ヲ制定昭和十四年八月一日附ヲ以テ公布同

0223

0222

年八月十日ヨリ施行セラルルコトト相成候ニ付テハ之ガ制定ノ趣旨ノ周知徹底ヲ圖ルト共ニ左記ニ依リ取扱相成度依命此段及通牒候也

記

一、第二條但書ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可スベキ場合ハ左ノ範圍ノモノニ限ルコト

(イ) 學校、病院、試験機關又ハ地方長官ノ適當ト認ムル團體ガ試験研究用ニ供スル爲屠殺スル場合

(ロ) 廢兎（病兎、老兎）ノ處分ノ爲屠殺スル場合

二、前項ノ外特別ノ事情ニ依リ許可ヲ爲サントスルトキハ豫メ當省經濟更生部ト打合スルコト

三、第二條ニ付毎月十五日迄ニ其ノ前月中ニ許可シタルモノヲ左ノ様式ニ依リ當省ニ報告スルコト

第二條ノ許可月分

申請者ノ住所氏名	屠殺頭數	屠殺ノ目的	屠殺ノ期間	屠殺場所

四、第四條ノ届出ニ付毎月十五日迄ニ其ノ前月中ニ提出シタルモノヲ左ノ様式ニ依リ當省ニ報告スルコト

軍ノ注文ニ係ルモノナル場合ハ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

第四條ノ届出		月分
届出者ノ住所氏名	屠殺頭数	
	屠殺シタル 家鬼ノ處分 日	
	屠殺場所	
	備考	